



教育長から少年少女ノーベル賞の表彰を受ける受賞者

1年間の功績をたたえる

■「牧之原市教育委員会表彰」表彰式

学業や文化活動、スポーツなどで功績のあった市民や児童生徒をたたえる「牧之原市教育委員会表彰」表彰式が3月10日、い〜らで開かれました。各分野において県大会1位同等以上の成績を収めた、21個人・7団体が表彰を受けました。また、全国的なレベルでの功績が優秀な20歳未満の市民および市出身者に贈られる「少年少女ノーベル賞」を、昨年12月に将棋の第1回リコー杯女流王座戦で優勝した加藤桃子さん（細江区出身）をはじめ6人が受賞しました。

国の重要無形民俗文化財指定を報告

■「蛭ヶ谷の田遊び」の継続を誓う

蛭ヶ谷地区に伝わる民俗芸能「蛭ヶ谷の田遊び」を支える皆さんが、3月9日に市役所相良庁舎を訪れ、重要無形民俗文化財指定を市長に報告しました。3月8日に東京都で行われた指定証書の交付式には、今年の地区青年役員代表である「親方」を務めた村松公夫さんと、昨年の親方を務めた長谷川聡さんが出席。近藤誠一文化庁長官から指定証書が交付されました。

村松さんは「地域のつながりにもなるので、これからも続けていきたい」と語りました。



市長に指定証書を見せて報告する蛭ヶ谷地区の皆さん

相中生が全国大会ではつらっプレー

■第18回日本リトルシニア全国選抜野球大会

柵良中学校の大石智貴さん（3年）、高塚淳平さん（3年）、苦川竣さん（2年）が、3月下旬に大阪で開催された「第18回日本リトルシニア全国選抜野球大会」に出場しました。

3人が所属する硬式野球クラブ「小笠浜岡リトルシニア」は、3月28日に愛知県のチームと対戦。1対0で惜敗しましたが、最後まで諦めずに全力でプレーしました。キャプテンを務める大石さんは「夏の全国大会出場を目指して、これからも練習を頑張りたい」と決意を新たに語りました。



大会前に市長から激励を受ける選手たち（左から高塚さん、大石さん、古川さん）



地頭方海浜公園を出発する参加者

史跡や自然を楽しみながら散策

■牧之原市ビタミンウォークin地頭方

ビタミンB1を発見した故鈴木梅太郎博士ゆかりの地を散策する「牧之原市ビタミンウォークin地頭方」が3月24日、地頭方地区で開かれ、約500人が参加しました。

5キロと14キロの2コースに分かれて地頭方海浜公園を出発し、市指定文化財の「板屋庭園」「梅太郎博士夫妻の墓」などの史跡を思い思いのペースで見て回りました。コースの途中にはお茶や豚汁などのサービスもあり、参加者は駿河湾や富士山を眺めながらウォーキングを楽しみました。



波津地区の避難場所である小堤山公園に避難する住民

夜間の津波襲来に備える

■市夜間津波避難訓練

津波に対する意識高揚を図り、夜間でも迅速に適切な行動がとれるように、市では3月6日に夜間津波避難訓練を実施しました。

訓練には、津波避難対象区域の市民ら約9300人が参加。午後7時20分に伊豆半島沖で震度6弱の地震が発生したという想定で始まり、市では3分後にサイレンと同報無線で大津波警報を発令しました。住民らは懐中電灯を手に、決められた避難場所へ続々と避難。経路や所要時間などを確認したほか、夜間における安全性や危険箇所の点検や検証を行いました。訓練後、市長は「子どもが参加する訓練は大切。今後も夜間訓練を続け、少しでも被災者を減らしたい」と講評しました。

バシャ！！
ズームイン！！



広報担当がどこにも取材に行きます。
あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎ (23) 0052 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

地域のために役立てたい

■榛原総合病院へ時計を寄贈／細江小学校

細江小学校の児童が3月8日、アルミ缶の回収費を積み立てて購入した壁掛け時計2個を、地元の榛原総合病院に贈りました。同校のエコ委員会で「少しずつ貯めてきたお金を地域のために役立てよう」と話し合った結果、司病院からの要望もあった時計を贈ることにしました。

全校児童を代表して、エコ委員長の知久真子さん（6年）が「この時計が地域の役に立てるなら、私たちとてもうれしい」とあいさつ。手渡された時計は、院内1階の待合室に設置されました。



榛原総合病院の看護部長らに時計を贈る児童



榛原総合病院に勤務する鈴木さん（左）と山本さん（右）

地元の病院で看護の道へ

■静岡県中部看護専門学校卒業式

中部看護専門学校卒業式が3月3日、同校講堂で行われ、38人が学び舎を巣立ちました。

本市からは鈴木佳奈絵さん（勝間田区）と山本留美さん（波津区）の2人が卒業。「思いやりの心を持ち、笑顔を忘れずに患者さんに接していきたい」「毎日元気で明るく、患者さんのことを第一に考える看護師になりたい」と、それぞれ抱負を語ってくれました。2人は地元の榛原総合病院で、看護師としてのスタートを切りました。また、2人のほか6人の卒業生が、同病院に勤務しています。